

(様式3)

事業所名 グループホーム かがやき

目標達成計画

作成日 平成 25 年 2 月 6 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念に基づいた実践の強化	安心と安全、快適に笑顔で過ごす。	利用者の出来ることは利用者が行い、出来ないところをお手伝いする。その人らしい生活をし、趣味や昔の暮らしをアセスメントし残存機能を導く。	6 ヶ月
2	38	食事・排泄・入浴を除いた余暇の時間を有効に過ごす。男性利用者が増え身だしなみ(髭そり)を忘れている。	各自の希望を尊重。 得意な能力を引き出して目標を持ち、日々過ごす。 生活のリズムの朝洗顔後髭剃りを行いスッキリとした顔で過ごす。	色々な機会を提供し、興味を持って作業や活動を把握する。(音楽・体操・貼り絵・手芸・ゲーム・習字・園芸・読書等) 声かけで促す。又は一部介助。	1~6 ヶ月
3	40	夕食時間のあり方について。 15時頃、水分補給(おやつ)の時間から夕食時間まで短い。	夕食まで、レクリエーションを行い、楽しく過ごし、夕食の準備一緒に行う。(強化) 夕食時間が、現在は17時ですが、時間を少しづつずらし、18時まで延ばす。	15時の水分補給後より、レクリエーションを行い、夕食の準備の際には、人参・じゃがいも等で昔手作りしたものを聞き出し、一緒に行う。 トランプやかかるた、風船バレー、歌を歌って楽しむ。	2 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。